

仙台医療福祉専門学校
令和7年度 学校関係者評価報告書

令和8年6月

学校法人 北杜学園
仙台医療福祉専門学校

◆ 令和7年度 学校関係者評価について

学校法人北杜学園 仙台医療福祉専門学校は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいた評価項目に沿って実施・作成した、「令和7年度自己点検・評価報告書」の結果について、学校関係者評価委員会を開催し、学校関係者評価を実施いたしました。

本校に関係の深い方々から幅広くいただいたご意見・ご提言を評価項目毎に要約し、本報告書に取りまとめました。「令和7年度自己点検・評価報告書」と共にご覧ください。

関係の皆様からいただいた貴重なご意見・ご提言は今後の改善策に盛り込み、学生により良い教育と環境を継続的に提供し、常に質の高い専門職業人を養成してまいりたいと存じます。

令和 8年 6月
学校法人 北杜学園
仙台医療福祉専門学校
校長 工藤 広一

◆ 学校関係者評価委員会 評価委員

氏名	選出区分	所属・役職
とがみ けんいち 戸上 謙一	関係施設	有限会社 ファーマシーすず 統括本部 統括部長
すがさわ まさや 菅澤 昌也	関係施設・卒業生	医療法人 松田会 介護保険部 部長
こいずみ のぶやす 小泉 敦保	関係施設	株式会社 バイタルケア 代表取締役社長

評価項目	(1) 教育理念・目標
①	理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）
②	学校における職業教育の特色は何か
③	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
④	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
⑤	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療系入学生数が減少傾向にあることはある程度認識していた。給与が安いことも理由の一つであると現場側は考えている。医療（調剤薬局）系にも処遇改善はあるものの介護と比較するとそれほど手厚いものではない。学生からするとコンビニエンスストアでのアルバイトの時給の方が高いと認識しているのではないかと思う。高校生の進路指導においては将来性を考え薬学部は勧めないと聞いたこともある。厚生労働省からは通常調剤業務以外の業務を求められている。それは地域住民への熱中症対策セミナーの講師業務等である。その講師が使用するスライド資料を以前は一週間程度で作成していたものが現在では、生成AIを使用すると一時間足らずで完成させることが出来る。医療（調剤薬局）系現場でも生成AIを使用する機会が増えているので、学生募集・人材育成ということを考えると、カリキュラムに生成AIの授業を組み込み、使いこなせる学生を育成させることも良いのではないか。また、オンライン診療やオンライン服薬指導も増えてきているのでこれらについてもあわせて検討してほしい。 ・ 外国人留学生の入学が増加傾向にある中、資格取得を目的とする専門学校は合格率向上への対策・工夫が必要なのではないかのご意見があり、今年度採用した教科書の中には振り仮名が振られている教科書を多く採用した。また、以前から教員は留学生向けのサポート資料を作成していると回答した。 ・ 企業でも就業規則に振り仮名を振ったところ外国人就業者の好評を得た。理由は、しゃべり言葉は理解できるが、漢字を多用した文書で表現されると理解ができないということであった。振り仮名を付けることにより、会話と文章が一致していることを理解するようである。このことから、振り仮名を多用すれば国家試験の合格率向上にもつながるのではないか。 ・ 精神保健福祉士養成通信課程（以下「精神通信」という）について定年を迎えた（迎える）方たちにとってのリカレント教育としてニーズがあるので継続して進めていただきたい。ひいては受講した方のご家族への影響によりご子息への入学につながるのではないか。 ・ 精神通信の受講生年齢層について質問があり、男性平均は45歳（66～27歳）、女性は44歳（64～27歳）と回答。これについて、平均年齢が45歳であれば、ご子息も進学を検討する年代と推測でき、かつ、保護者と関連した職種に就く傾向がご子息にあるとすれば、通信課程は今後も効果的なのではないかのご意見をいただいた。 	

- ・ 親の介護を経験した40～50歳の世代は介護に興味を持つ世代であると推測するのでこの世代をターゲットにしたクラスを設置してはどうかのご意見があった。専門学校としては入学の条件に年齢制限を設けておらず、その世代の入学実績もあったと回答。しかし、二年課程の養成課程を子育て世代が履修するのは困難と推測する。

評価項目	(2) 学校運営
①	目的等に沿った運営方針が策定されているか
②	事業計画に沿った運営方針が策定されているか
③	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
④	人事、給与に関する制度は整備されているか
⑤	教務・財務等の組織設備など意思決定システムは整備されているか
⑥	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
⑦	教育活動に関する情報公開が適切になされているか
⑧	情報システム化等による業務の効率化が図られているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人事考課を給与や賞与に反映されていることを確認した。一部の学校で人事考課を取り入れていない学校があると耳にしたことがある。教員採用の際、人事考課があることは応募者にとって安心材料となる。 ・ 教員採用について、採用側は素性の分かっている卒業生を、応募者側は内部を知っている学校に応募、どちらにもメリットがある採用の取り組みではないかのご意見があり、介護福祉学科では今年度、資格要件を満たした卒業生を非常勤講師として委嘱した実績があることを回答した。 	

評価項目	(3) 教育活動
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
②	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
④	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
⑤	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
⑥	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置付けられているか
⑦	授業評価の実施・評価体制はあるか
⑧	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか
⑨	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
⑩	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか
⑪	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
⑫	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか
⑬	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
⑭	職員の能力開発のための研修等が行われているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	

評価項目	(4) 学修成果
①	就職率の向上が図られているか
②	資格取得率の向上が図られているか
③	退学率の低減が図られているか
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業に関して、近年、離職率は低くはなっているが、介護現場でも退職者は一定数（10%程度）ある。専門学校同様、近年は精神的サポートを必要とする職員が多く、退学率の問題は共感する。 ・ 卒業生という立場から、在校生のキャリア形成への効果が期待されるのであれば、各種セミナーへ講師として協力させていただきたい。 ・ 入学試験及び、退学率について、ハイリスクを抱えていると分かっている受験生を入試で合格させて良いのかどうかの確認が必要ではないのか。企業も同様で、入社したが短期間で退職する職員がいる反面、入社後、成長がうかがえる職員もいる。非常に難しい判断である。入学を許可した場合、教員の負担はどの位なのか、また、学校経営としての判断等、様々な考え方がある。また、教員が手厚くケアをしても残念ながら退学に至り、その上、根拠のない悪い評判を流布される等、懸念される。 	

評価項目	(5) 学生支援
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか
②	学生相談に関する体制は整備されているか
③	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか
⑦	保護者と適切に連携しているか
⑧	卒業生への支援体制はあるか
⑨	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
⑩	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> （通信課程も含め）専門学校を卒業した方々への会報的な活動は行っていないのかとのご質問があり、会報は発行していないと回答。以前、介護福祉学科は同窓会活動を行っていたが、教員だけの役割分担では負担が多く、各所に役割を分担していたが徐々に下火になってしまったと回答した。会報があれば、何らかの形で学生募集につながるのではないかとのご意見をいただいた。 	

評価項目	(6) 教育環境
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
②	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
③	防災に対する体制は整備されているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	

評価項目	(7) 学生の受入れ募集
①	学生募集活動は、適正に行われているか
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
③	学納金は妥当なものとなっているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生募集は企画広報部が行っていることは認識した。1年間でも大手広告代理店やコンサルタントを介入させてアイデアをもらってはどうかとのご意見をいただいた。 ・ 現状のオープンキャンパスについてご質問があり、日本人枠は年々減少傾向であるが、その半面、6月末に実施予定の留学生枠は定員をオーバーして受付をストップしたところであると回答。委員から、日本人の介護福祉士のなり手がいないのはニュース等で処遇改善の話題になると介護福祉士のみ話題になり、世の中の介護職へのイメージが悪くなっているのではないかとのご意見もあった。 	

評価項目	(8) 財務
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
③	財務について会計監査が適正に行われているか
④	財務情報公開の体制整備はできているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	

評価項目	(9) 法令等の遵守
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
④	自己評価結果を公開しているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員を保護する上で、モンスターペアレント等への対策としてカスタマーハラスメントの基本方針を制定し掲示や入学時に周知をしてはどうかとのご意見があった。 	

評価項目	(10) 社会貢献・地域貢献
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
③	地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	

評価項目	(11) 国際交流
①	留学生の受入れについて戦略を持って国際交流を行っているか
②	受入れにおいて適切な手続き等がとられているか
③	学習成果が評価される取組を行っているか
④	学内で適切な体制が整備されているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定員80名の国際総合ビジネス学科への出願者数が247名だったことについて何らかの増員対策を立てればよいのではないかとのご意見があったが、専門学校のハード面及び、ソフト面で困難があることを伝えた。また、入試では日本語能力と人柄を重視して選抜していることをお伝えすると共に、以前は留学生の夜間課程も検討したが法律上の問題があり断念した経緯をお伝えした。 	